



矢野 昭三 議員

戦没者追悼等

広報での案内 掲載位置は 参加しやすいお知らせに

問 今年の追悼式は中学生が思いを述べて頂き感謝している。

広報での案内等は表紙、または1頁へ掲載すべきではないか。

また、顕彰石碑等整備をいかに取り組むか。更に、顕彰石碑等設置

場所を遺跡・平和公園として位置付けをするか。

答 松本町長

案内は、皆様に分りやすく、参加しやすいお知らせとなるよう配置等も含めて検討する。

石碑等の整備は、遺族会を中心に協議し取り組みを検討する。また、遺跡・公園化については、遺族会の意向整理が出来ていない。年内早いうち遺族会と協議をしたい。



戦没者顕彰施設
(中の川地区)

事前復興計画

佐賀でも 高台造成を

全力を尽くす

問

佐賀地域の区長12人から要望があった「今度、佐賀の番じゃないでしょうか。佐賀でも高台造成を」について、地震・津波の襲来に時間との競争となるため、東公園の運動場を高上し、避難場所等に活用してはどうか。

答 松本町長

全国最高の津波高を突き付けられている住民の不安な状況は、十分察している。しかし高台移転を含めた事前復興の状況は想像も出来ないほど大きな事業となる。

いつまでに出ると言う事は出来ないが、全力を尽くして住民と色々な知恵を出し合い、出来るだけ早く進めたい。



東公園運動場

総合戦略

若い世代の 意見集約を 現状を把握し 計画に反映

問

総合戦略の基本目標3の若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶えるため、保護者等の意見を聞き集約し、策定しているか。

佐賀発電所

町の評価は

生活・産業に 好影響

問

発電所の存在による合併以来の税収をはじめ生活、水道、産業用水等の評価、並びに感謝の意の表明や交流を問う。

答 青木地域住民課長

発電所の固定資産税は毎年約38万5千円。償却資産は除外している。

答 西村企画調整室長

取り組みの方向性や施策の検討にあたり、現状を確認、把握する必要がある。このため、保護者の方々ははじめ関係者のご意見を参考にし、既存事業の見直しや新規事業の構築に向け協議し、事業計画等に反映させている。



佐賀発電所(市野々川地区)

分水が無くなった場合は農業、漁業、生活用水に負の影響が発生する。今後分水をお願いする立場に変わりない。急激な水量の減少による住民生活への影響を回避するために、引き続き発電所の存続をお願いした。

水利権更新後に四万十町長に対しお礼を申し上げた。又、四万十川流域との人的交流等については深めていきたい。

なお、四国電力は、「水力発電は、二酸化炭素等の温室効果ガスを発生させないエネルギーなので、末永く稼働させたい」と考えている。

【その他の質問】

・コロナワクチン等について